

働く経験が

若者たちの

「生きる力」になる

「作業を教育に」Project

不登校や引きこもりを経験した若者が、
“働くこと”を通じて社会と再びつながる。

M-LINKでは、就労体験を教育プログラム化しています。

現場の「作業」（就労トレーニング）を通して、

若者が“できた”という実感を積み重ね、社会の中で生きる力を育んで
いきます。

現場では「やり方」より「在り方」を大切に。

挨拶・返事・協調を徹底し、失敗も学びに変えます。



若者自立準備塾



就労・生活・金融を学ぶ
実践型支援

[所在地] 〒252-0105

神奈川県相模原市緑区久保沢1丁目5-15

[メール] contact.mlink2025@gmail.com

[電話番号] 090-3104-6958

[担当者] 小山 和伸

お問い合わせは
こちらから
Google Form



地域の企業の皆さまへ

「教育の現場」を、あなたの職場から

M-LINKでは地域の企業と連携し、若者が社会に触れる機会をつくっています。

短期・単発の作業を「教育の現場」としてご提供いただくことで、
次世代の人づくりに参加していただけます。

ご協力のお願い

1. 「日常の作業現場」を教育の場にさせていただきますか？

掃除、仕分け、搬入、片付けなど――

特別な技術は不要だけれど、誰かの力が必要な作業をお手伝いさせてください。

2. M-LINKスタッフ（トレーナー）が同行し、現場をサポートします。

安全管理・指導・振り返りまで、トレーナーが責任をもって対応します。

安全第一・品質第二・生産第三を基本方針として取り組みます。

3. 「働いて報われる」経験が、若者の学びを育てます。

生徒たちは「働いて報酬を得る」経験を通して、社会の仕組みを学びます。

日当制・時給制・案件単位の発注など。ご相談ください。

4. 終わったあとに、ひとことの感想をお願いします。

「よく頑張っていたね」「挨拶が気持ちよかったよ」――

その一言が、生徒たちに次の一步を踏み出す勇気を与えます。

7つの基本

- ・挨拶
- ・返事
- ・サッと行動
- ・早めの行動
- ・姿勢を正す
- ・ルールを守る
- ・物の整理 後始末

社会で信頼される
「当たり前を大切にできる人」になるための
実践項目として取り組んでいます

○過去の実施例

店舗解体の補助、資材の搬入、ビアガーデン撤収、事務所整理など
体力的にそれなりに負荷のある作業も経験してきました。

○実施への流れ

